

Good Job!! Nagasaki



今月のグッジョブ
[長崎港湾漁港事務所]

港の安全を守り、にぎわいを創出



所長以下、総務課、港営課、港湾課、漁港課の4課体制、74名で業務にあたっている。前列左から4番目が平岡所長



漁港課建設班 井手 哲さん

新県庁舎前の防災緑地の整備を担当。工事関係者との調整や現場監督、進行管理などを行っています。機能性や安全性を追求する一方、景観にも配慮。県産材を多用し、県内21市町の樹木を植えるなど、後世につなぐ気持ちの良い空間をつくれるよう心掛けています



港湾課建設班 田口朋治さん

長崎に寄港するクルーズ客船の受入業務を行っています。一定の大きさを超える大型船については、入港の数時間前から風速や視界等の安全確認を行っています。無事に入港し、船から笑顔で降りてくる人たちを見るとうれしいですね

安全で活気あふれる
日本一の港を目指して
頑張る姿にGood Job!!



小ヶ倉柳ふ頭に整備された、
県内初となるガントリークレーン



設計図を見ながら進捗状況や今後の
方針などについて課内で検討を重ねる

交流・物流を縁の下で 支える技術者たち

全国有数の港町、長崎。その港湾・漁港の整備や管理を担っているのが、長崎港湾漁港事務所。長崎市、長与町、時津町を管轄し、長崎港をはじめ茂木港や時津港、長与港など12港と、長崎漁港などの4漁港を管理しています。

主な業務は、港湾や漁港の防波堤や岸壁、緑地等の整備に加え、ターミナルや倉庫等の施設整備など。その中でも現在、特に力を入れているのが、新県庁舎前の防災緑地の整備で、「新県庁舎前の緑地は、平常時には県民の憩いの広場として、また災害発生時には防災広場としての機能を果たせるよう整備を進めています」と平岡昌樹所長。新県庁舎の完成にあわせ、今年12月の完成を目指しています。

また、近年増加しているクルーズ客船の受入も大切な業務の一つ。平成29年は300隻を超えるクルーズ客船の寄港が予定されていて、寄港の予約や長崎港保安規定に基づく立入制限区域の監視などの保安業務などを行っています。

さらに、韓国と定期コンテナ航路で結ばれている小ヶ倉柳ふ頭についても利便性
の高いふ頭になるよう再整備中。6月には貨物(コンテナ)の荷降ろしに使用するガントリークレーンの供用を県内で初めて開始しました。

「長崎の港は県民にとっても観光客にとっても大切な場所。交流や物流の拠点となるよう、これからも整備を進めていきます」

この事務所の日々の業務の向こうには、海の玄関口の明るい未来が広がっています。

快適で安全・安心な暮らしを広げるためには、交流・物流の拠点となる港湾の整備や自然災害に備えた防災拠点港の耐震強化岸壁等の整備が不可欠です。

災害に強く、にぎわいと暮らしを支える社会基盤の強化を進めるため、県内各地の港湾・漁港の整備に全力で取り組んでいきます。



長崎県知事 中村法道